

〔新収品紹介〕

田能村竹田筆「翰墨隨身帖」(全12図)

紙本墨画・紙本淡彩 各23.1cm×15.4cm

江戸時代後期に中華文人趣味が流行し、明清画の影響を受けた南宗文人画が描かれたことはご承知の通りです。もちろん、この時代の日本の南宗文人画は本家の中国と較べると、その性格が純粹でなく、文人画家の中に画を売って生活する職業画人が多かったり、あるいは南宗画様式以外の作品もひろく描かれるなどの傾向が認められます。しかし、江戸時代の南宗文人画が知識人の芸術として、日本絵画に新生面を開いたことは、高く評価せねばなりません。

田能村竹田(1777~1835)はこれら一群の画人の中では、学問的教養の深さにおいても、中華文人についての知識の正確さにおいても、あるいは画技の秀抜さにおいても、当代一流の人物でした。彼は豊後岡藩の侍医の子で、名を孝憲、字を君彝と言ひ、竹田などの号があります。25歳のとき江戸に出て谷文晁に画法を問ひ、帰国後儒者として岡藩に仕えましたが、37歳のとき退隠して、故郷と京都や大阪の間を往来する生活を送りました。彼は『山中人饒舌』や『竹田荘師友画録』などのすぐれた文人画論を書き、日本の画家の中では中国明清の正統的な南宗画に近い様式の作品を多く遺しています。

しかしながら、竹田の作域はな

かなかひろく、一方では当館所蔵の『親鸞上人剃髮図』のような大和絵風の歴史画も描いていますが、これについては本誌、1983年冬号に紹介した通りです。また、彼はふつう中国の南宗画家の描かない六曲一双の、図柄の続いた大屏風絵にも、傑作を遺しています。

ただ、竹田の得意とするのは、一般に小品の画で、中でも文人画の特徴とも言うべき画冊に佳品があります。元来、小さい画冊は中国的雰囲気を持っており、また文人の貴重とする高雅で洗練された文房具趣味を示しているもので、江戸時代後期には大いに歓迎されました。竹田の画冊で最も有名なものは、文政12年(1829)から翌年にかけて描かれた『船窓小戯帖』と天保元年(1830)から翌年にかけて作られた『亦復一楽帖』(寧楽美術館蔵)ですが、今回大和文華館の所蔵品となった『翰墨隨身帖』も、晩年に多い竹田の画帖の傑作として注目すべきものです。

この画冊は竹田が56歳であった天保3年(1832)の暮から、翌天保4年の3月にかけて、彼が滞在中であった下関近辺において描かれたようです。全部で12図の小画から成っていますが、図柄は蟹、山茶花、靈芝、岩石など身近の小品を題材とした画冊で、竹田のそ



第1図 淡彩紅蟹



第9図 淡彩山茶花

れらに対する愛情がにじみ出ています。各図の主題は以下のようなものです。

- 第1図 淡彩紅蟹
- 第2図 水墨湖石
- 第3図 水墨双蟹
- 第4図 淡彩石
- 第5図 水墨蟹
- 第6図 水墨芦蟹
- 第7図 水墨芦蟬
- 第8図 青緑湖石
- 第9図 淡彩山茶花
- 第10図 水墨草石
- 第11図 淡彩靈芝
- 第12図 淡彩靈芝

以上のような図のあとに、天保4年4月の年記のある竹田による短い自跋があり、この画冊が印章を彫る廬峯なる人に贈られたものであることが書かれています。

この印人はどのような人かよくわかっていませんが、下関の人で、数ある竹田の画印のうち、「老画師」(朱文橢円印)、「田能村憲」(朱文方印)、「前身胡蝶」(朱文方印)、「無用人憲」(朱文方印)の4印を彫った人です。

この画冊は廬峯が秘蔵していましたが、のち天保6年(1835)7月15日に大阪の書家であり詩人であった篠崎小竹によって、「翰墨隨身遇場作戯」という題字が書かれ、さらに同年の冬に京都の医家で竹

田の親友でもあった小石元瑞によって、跋文が添えられました。これにより、はじめ廬峯のためのお手本として描かれたとも言えるこの画冊が、文人の愛玩する妙品としての体裁を整えたわけですから。

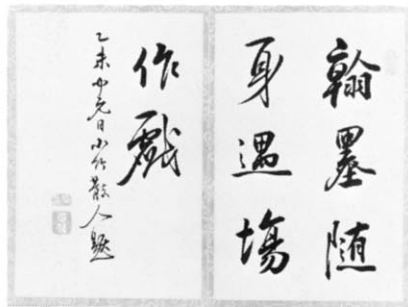
この画冊の箱には明治時代の功臣子爵杉孫七郎(聴雨)の題字で「竹田画冊妙品」とあり、裏面にはこの画冊が明治の元勳木戸孝允(松菊公)の愛玩品の一つであったことが記されています。つまり、本品は印人廬峯の手から、明治の初めには木戸公の所蔵に移っていたこととなります。

木戸公は余程この画冊が気に入ったらしく、その日記によると、明治8年正月元旦に下関の旅館でこれを陳列しています。また、かつてヨーロッパ回遊の折に木戸公はこの画冊を携えて行って、日夜楽しまれたとのこと。明治の元勳の中には、漢詩文にひいで文人画を楽しむ人が多かったのですが、木戸公はその代表的な一人でした。この画冊が木戸公の遺愛品であったことを知ると、また一しおの興味が湧くのを覚えます。

(成瀬不二雄)

参考：相見香雨「松菊公遺愛の竹田名蹟」(日本美術協会報告11号、昭和4年2月7日)

篠崎小竹題字



竹田自跋

